

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2018-204233 (P2018-204233A)
【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)
【年通号数】公開・登録公報 2018-050
【出願番号】特願 2017-108670 (P2017-108670)
【国際特許分類】

E 0 4 G 3/28 (2006.01)

【F I】

E 0 4 G 3/28 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

構造物に被支持物を支持させるための支持装置であって、
前記支持装置は、前記構造物の少なくとも一部を囲むように構成された囲繞ユニットを備え、

前記囲繞ユニットは、

前記構造物の外面に当接するように配置される複数の当接部材と、

長尺状に形成されて長手方向の両端部がそれぞれ別個の前記当接部材に連結される複数の引張部材と、を含み、

前記複数の当接部材、及び前記複数の引張部材は、交互に連結され、且つ、前記複数の引張部材の各々から前記複数の当接部材の各々に前記長手方向に沿った引張力が作用することで、前記構造物の少なくとも一部を囲んだ状態で前記構造物に固定されるように構成され、

前記被支持物は、少なくとも一つの前記当接部材によって支持される支持装置。

【請求項 2】

前記囲繞ユニットは、交互に連結された前記複数の当接部材及び前記複数の引張部材が前記構造物の全周を囲む

請求項 1 に記載の支持装置。

【請求項 3】

前記構造物は、空中において水平な方向に沿って突出する突出部を含み、

前記囲繞ユニットは、交互に連結された前記複数の当接部材及び前記複数の引張部材が前記突出部を囲む

請求項 1 に記載の支持装置。

【請求項 4】

前記当接部材は、前記構造物の外面に沿って延在する第 1 辺と、前記構造物の外面に沿って延在し、且つ、前記第 1 辺と交差する方向に延在する第 2 辺と、を有する

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の支持装置。

【請求項 5】

前記引張部材は、前記長手方向の一端部を構成する第 1 連結部材と、前記長手方向の他

端部を構成する第 2 連結部材と、前記第 1 連結部材及び前記第 2 連結部材のそれぞれに設けられたネジ部を螺合可能なネジ部を有するターンバックルと、を含む

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の支持装置。

【請求項 6】

前記引張部材は、前記引張力を発生させる少なくとも一つのジャッキを含む

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の支持装置。

【請求項 7】

前記支持装置は、前記被支持物と前記当接部材とを接続する接続部材をさらに備える

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の支持装置。

【請求項 8】

前記被支持物は、前記構造物に取付けられて所定期間経過後に取外される仮設物を含む

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の支持装置。

【請求項 9】

前記仮設物は、前記構造物に設けられる昇降装置の支柱を含む

請求項 8 に記載の支持装置。

【請求項 10】

請求項 1 から 7 のいずれか一つに記載の支持装置と、

長手方向が鉛直な方向に沿うように配置される少なくとも一つの前記被支持物と、

前記被支持物に昇降可能に設けられる昇降物と、を備え、

前記被支持物は、前記構造物に取付けられて所定期間経過後に取外される仮設物を含み

、
前記仮設物は、前記構造物に設けられる昇降装置の支柱を含む昇降装置。